

リビア地図	8	リビア関連略年表	9	略語表	10	凡例	11
まえがき	13						
謝辞	21						

はじめに リベラル帝国主義と新たなアフリカ争奪戦

23

第一章 シルテ——リビア独立の要石

49

シルテへようこそ	50
シルテ近郊のテントから——新しいリビアを定義する	58
シルテ——悪夢と化したアフリカンドリーム	65
シルテ、新しい汎アフリカ主義、米国の監視	70
リビア開発におけるシルテの位置	86
シルテ——改革、分断、高まる期待	98

第二章 シルテ——帝国主義の試金石

109

シルテ——レーガン、体制転換、関係改善(?)	110
シルテ——カダフィに対するM I 6とイスラーム主義者による初期の攻撃	127
バラク・オバマ、そして帝国のシルテ再訪	129
シルテ——帝国にとって不快な都市	137

シルテ——反政府勢力の幻想の地	140
シルテ——アッラー、ムアンマル、リビア、そして記憶	141
足を使って投票したのはだれか	144
戦争犯罪——NATOによる市民への爆撃	158
リベラルな軍事介入と「市民の保護」という虚構	170
シルテの解放——大虐殺、略奪、拷問、人種差別	177
ベンガジを救い、シルテを破壊する——人道的介入を装って	187
至上目標——体制転換	190
シルテでカダフィを追う	196
ハンターたちの祝賀会	212

第三章 リビアの汎アフリカ主義とそれへの不満

221

アフリカと『緑の書』——ヨーロッパ中心主義をこえて	226
マンデラとカダフィ——道義的汎アフリカ主義	230
リビア、カダフィ、汎アフリカ主義——汎アラブ主義後の反帝国主義	240
リビアの対アフリカ投資と援助	254
アフリカ各国への投資と援助	263
リビアの汎アフリカ主義の安全保障面	272
サヘル・サハラ諸国国家共同体——リビアの勝利	278

アフリカ人への攻撃——リビア国内の人種差別的反乱のルーツ……280
カダフィ後——アフリカに対してリビアの扉を閉ざす……296

第四章

アフリカに対する戦争——AFRICOM、NATO、人種差別……301

AFRICOM——好戦化する米国の対アフリカ関係とカダフィの抵抗……304
リビアの抵抗……319
敵を打倒し、米国に機会を創出するAFRICOM……326
人種差別的戦争——人種差別的な反政府勢力と人道主義者……331
空港とアフリカ人傭兵——飛行禁止空域の起源……332
ソーシャルメディア——軍事介入を支持する人種差別的ヒステリ！……336
主流メディア——人種差別的な恐怖心を拡散し煽動する……352
残虐行為についての初期の報道——取りあげられたものと無視されたもの……360
自慢する反政府勢力——集団処刑の告白……363
トリポリ陥落後——反政府勢力による民族浄化……365
アフリカ系移民と黒人リビア人のことを気にかける人はいないのか……376

第五章

人道主義と緊急事態の創出……381

“ジェノサイドの防止”……383
“カダフィは自国民を爆撃している”……388

“ベンガジを救え”……390
国連とリビアを代表する権利……396
アムネスティ・インターナショナル対リビア……401
“バイアグラにたきつけられた集団強姦”……407
“市民の保護”……412
軍事介入への代案？……420

おわりに

余波——アフリカとの新しい戦争……427

体制転換へのアフリカの反応……429
カダフィが死んだ、何ということだ！……429
アフリカ連合——不必要で挑発的な戦争を非難……440
南アフリカ——アフリカ民族会議は体制転換とアフリカの再植民地化に反対……444
ウガンダ——「自国民に不信任投票する反政府勢力」……452
ジンバブエ——「嘘つきで残忍な侵略者、NATO」……457
NATO軍事介入後の周辺地域の不安定化……460
帝国か尊厳か……462

参考文献……巻末

索引……巻末